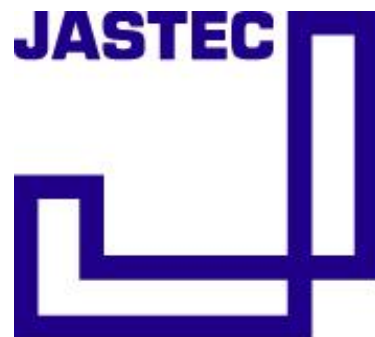


【東証1部 証券コード:9717】

株式会社 シヤステック

会社説明会資料



平成29年10月



会社概要

社名

株式会社ジャステック 【東証1部 9717】

本社

東京都港区高輪三丁目5番23号

事業内容

ソフトウェア技術開発及び販売

代表者

中谷 昇〔代表取締役社長 最高経営責任者（CEO）〕

設立年月

昭和46年(1971年) 7月16日

従業員数

1,211名（平成28年11月末現在）

資本金

22億38百万円（平成28年11月末現在）

売上高

162億26百万円（平成28年11月度）

営業所

仙台、沼津、名古屋、大阪、福岡



これまでの歩み

昭和46年
(1971年)

創業時からの売上高推移

昭和59年
(1984年)

平成元年
(1989年)

平成5年
(1993年)

平成10年
(1998年)

平成15年
(2003年)

平成20年
(2008年)

平成25年
(2013年)

【単位: 億円】

40 80 120 160

当社

S46 ジャステック創立

S57 沼津営業所開設

H1 株式店頭公開

創立20周年

H8 ISO90001の認証取得

H9 福岡営業所開設

H10 大阪営業所開設

H12 東証2部上場

H15 東証1部上場
CMMIレベル5を達成
(受託開発型SIとして日本初)

創立30周年

H20 CMMI (ver1.2)で
レベル5を達成

H24 CMMI ver1.3でレベル5達成

H27 CMMI ver1.3でレベル5達成

創立40周年

社会動向

S45 大阪万博

S48~S50 第一次オイルショック

S55~S58 第二次オイルショック

S60 プラザ合意

H01 消費税施行

H01 ベルリンの壁崩壊

S61~H3
バブル景気

H07 阪神淡路大震災

H3~H5
バブル崩壊

H13 アメリカ同時多発テロ

H11~H12
IT景気

H12~H14
IT不況

H17 郵政民営化

H14~H19
いざなぎ
景気

H23 東日本大震災

H20~H23
リーマン
ショック

H24~
アベノミクス



経営理念

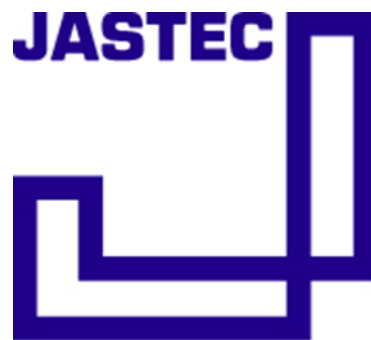
マンパワーリースを排除したソフトウェア開発および販売を専業とし、関連業務の多角化でなく開発分野の総合化と流通化を図り、情報社会に貢献する。

一括請負



CMMI Institute Partner

主体性



社会貢献



外に向かって、地球と人類に貢献する文化活動、内に向かって、技術者の意識改革を前提として、豊かで幸せな人生を追求する。



一技術分野
一社

経営参加

社員持株制度の採用

ソフトウェア市場の確立のために、顧客の啓蒙と開拓に先導的役割を果たす。

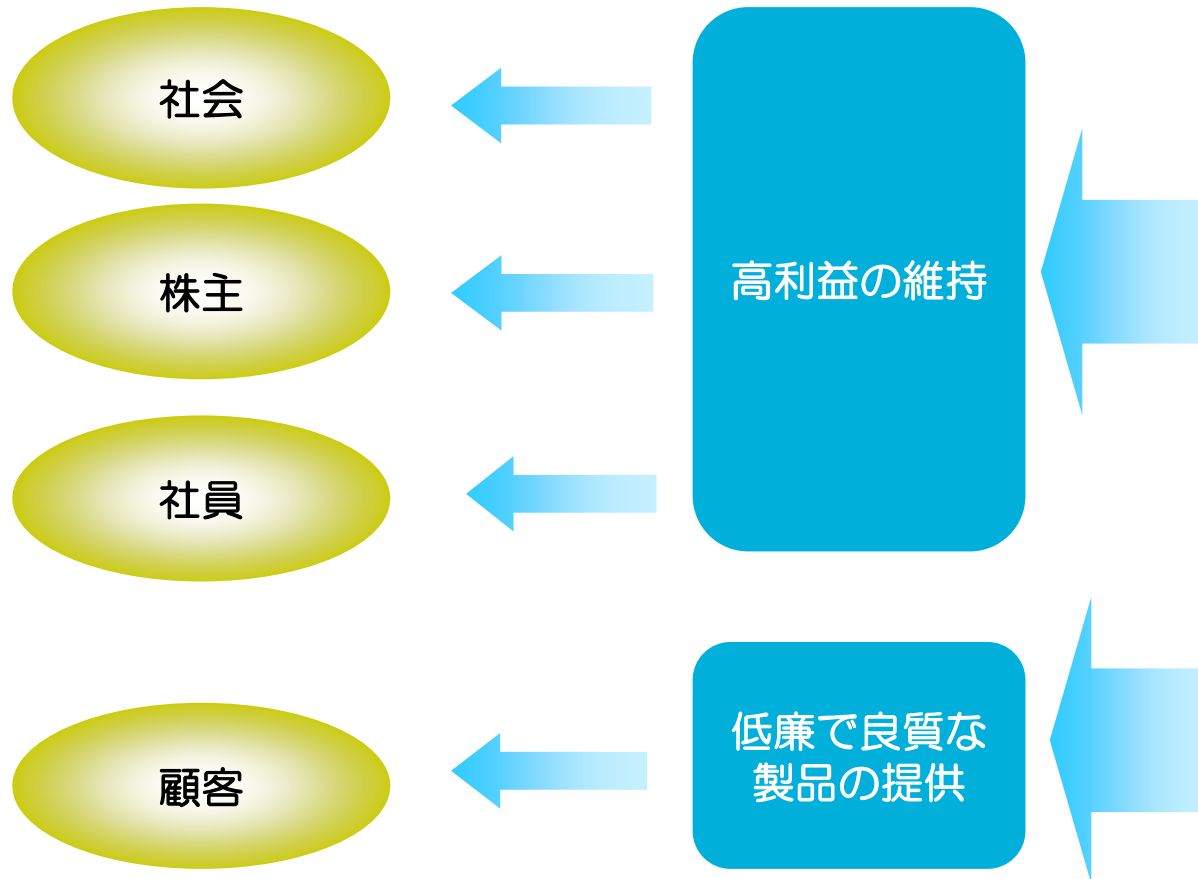


顧客の信用と安全を図る。



基本戦略

ステークホルダー重視



資本・営業・人事の独立

ソフトウェア会社の良心
ないしは標準の追求

一分野一社主義で多数の
一流クライアント

対象業務及びソフトウェア
技術の広さ

高い技術力

一括請負

オリジナルの生産管理
システム

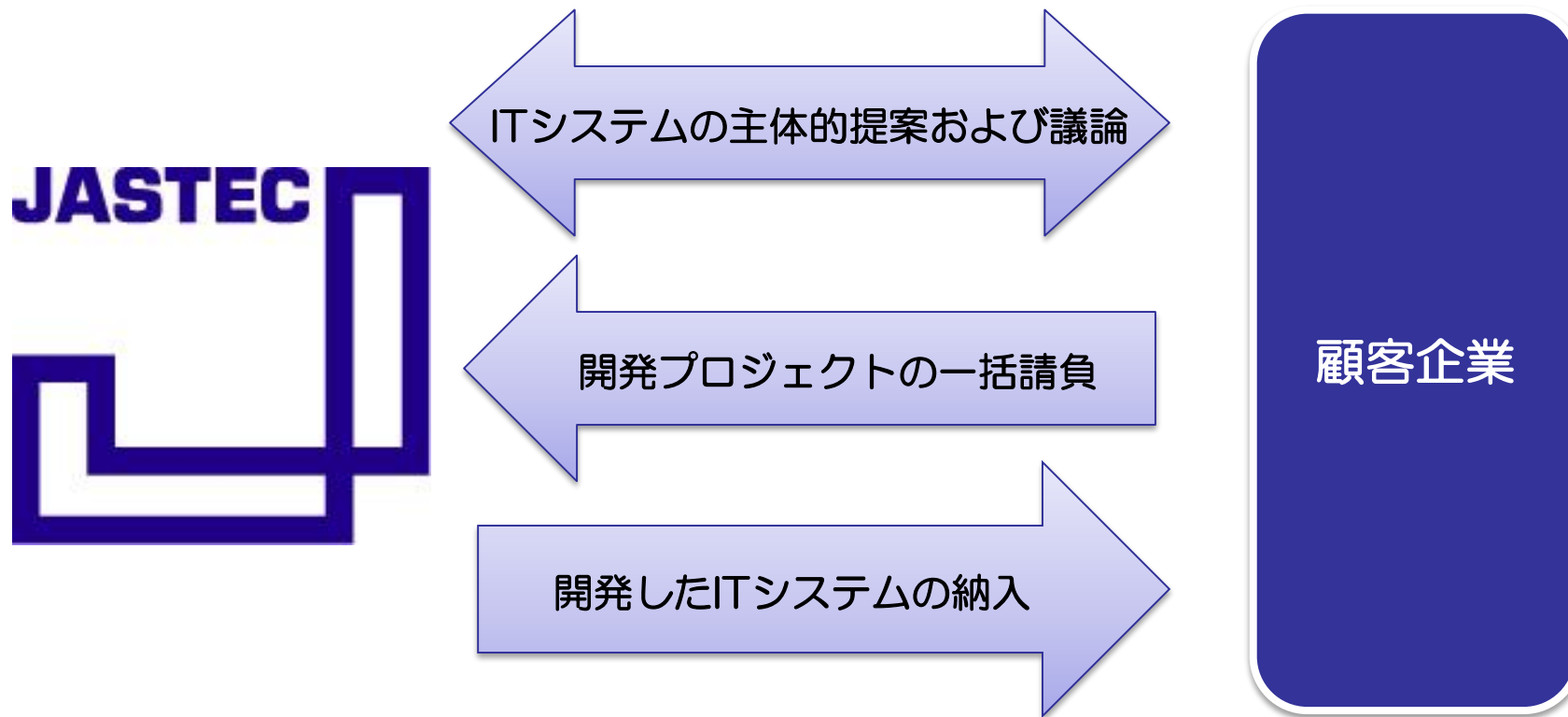
一元化した外注政策

オープンな能力主義と
社内民主主義



ソフトウェア開発専業

情報通信業界では数少ない
企業様向け『**ソフトウェア開発専業**』ITカンパニーです。



- ソフトウェア開発専業とは
 - ・ 消費者向け製品（ゲームソフト、アプリ等）ではなく、大企業様向けの基幹システムを、提案から納入、保守まで一括で請負う。
 - ・ **開発力**や**生産技術力**が強い。



当社の強み

お客様からの信頼性・安全性の要求

人月契約の排除
一括請負契約の拡大

独自生産管理システム「**ACTUM**」を構築・運用

要求品質

計る
化

見せる
化

価格面根拠

お客様への信頼・安全の提供

高利益の維持・能力主義の実践





CMMI®（能力成熟度モデル統合）レベル5取得

日本では初となる**全社対象CMMIレベル5**を
2003年に取得し維持しております

●CMMIとは

- ソフトウェア開発に対する能力度（プロセス改善の達成度）と成熟度（プロセス改善の度合い）を、レベル1からレベル5までの5段階により評価する指標。
- レベルが高い程、より高品質の製品を納期どおりに、より安価で開発できることを示す。
- 国際標準として全世界の民間企業で採用されている。
- 米国カーネギーメロン大学ソフトウェア工学研究所（SEI）が考案し、米国国防総省がソフトウェア発注先を評価する方法として使用していたが、現在は国際標準として全世界の民間企業で採用されている。

海外／国内企業における2011年以降の達成状況
（2016年11月当社調査による）

	海外	国内
レベル5	420社	8社
レベル4	146社	9社

（成熟度レベル）

レベル5：最適化している

定量的管理にもとづいて、プロセスの継続的な改善が行われている。

レベル4：定量的に管理された

プロセスの目標や実績が定量的に管理されている。

レベル3：定義された

組織の標準プロセスが定義されており、各プロジェクトが利用している。
また、プロジェクト実績が、標準プロセスの改善に利用されている。

レベル2：管理された

プロジェクトごとにプロセスが定義され、管理され、成果物が制御されている。

レベル1：初期

プロセスが定義されておらず、作業が個人に依存している。



知識集約型企业(知識の横展開)

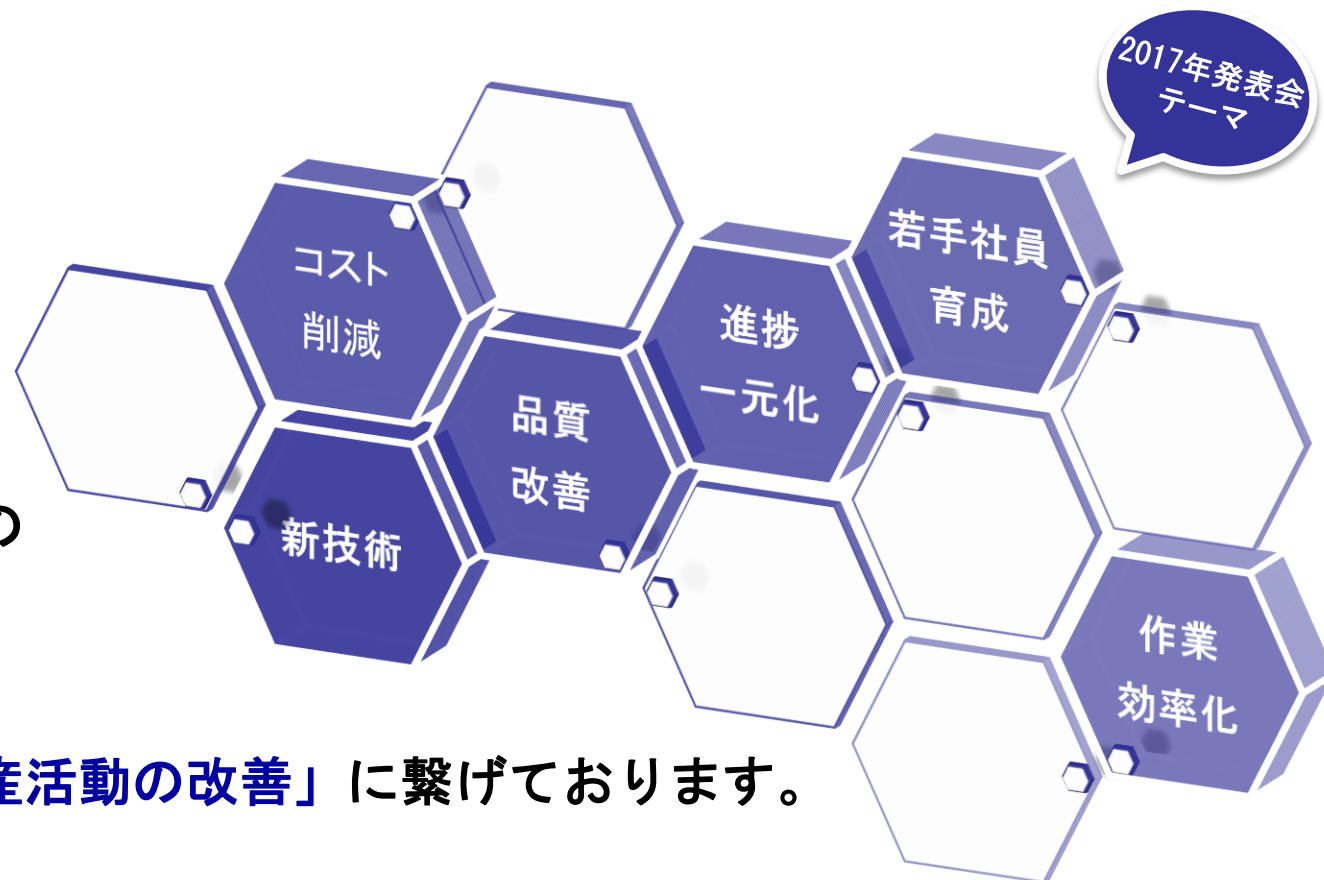
例) 社内『生産改善発表会』の開催

年1回「生産改善発表会」を開催しております。



ソフトウェア開発現場での
改善事例を持ち寄り
発表および評価を実施

「知識の横展開」や「生産活動の改善」に繋げております。





開発事例 ①

素材・建設業

ETCサービスを使って高速道路の出入りもスムーズで、渋滞も緩和される。
【ITS】

空調・防災・照明などの設備機器を最適にコントロールし、安全で快適な環境を維持しつつ省エネを図る。
【ビル管理システム】

安全走行補助機能(VIDIM)など、人にやさしい車へ進化。
【車載電子制御システム】

道路情報サービスは、渋滞などの道路状況や迂回路までアドバイスしてくれる。
【VICS】

このテーマパークでは、各遊戯施設の待ち時間をリアルタイムにディスプレイに表示します。
【テーマパーク運営管理】

注文から出荷までの情報を一元管理しているので、顧客の問合せに速やかに対応できる。
【製品出荷情報管理】

製造業

データ放送で交通情報や天気予報等が手軽に確認できる。
将来は選挙の投票もできるかも知れない。
【地上波デジタル放送】

火事を119番通報したら、最寄の消防署と警察署からすぐに消防車とパトカーが出動される。
【緊急通報】

IP電話は、音声インターネットの方式でデータとしてやり取りするので、長距離でも安価にできるそうだ。
【IP通信網】

デジカメは、誰でも簡単に写真が撮れて撮影結果もすぐに確認できるし、きれいに印刷することもできる。
【デジタルカメラ】

最近の携帯電話は映像情報を簡単に送受信できるし、映画館や新幹線のチケットも予約できる。
【次世代携帯電話】



開発事例 ②

金融・保険業

インターネットで企業の情報や株価を確認しながら手軽に売買ができるので株式投資を始めた。
【オンライントレード】

銀行に出向かなくても、家庭のパソコンや携帯電話から振込みや残高確認ができる。
【ネットバンキング】

確定給付型・確定拠出型・ハイブリット型など、種類も増えて選択肢が広がった。
【企業年金】

刻々と変わる全国の開票状況に注目する。
【選挙速報】

買い物をして、ポイントも貯まったので、ポイントを使って実家に商品券を贈ろう。
【信販】

個人毎に違う生涯リスクをパーソナライズした新しい保険設計が、これからの消費者ニーズを掴むためには必要だ。
【損害保険】

電力・運輸業／情報・通信業／流通・サービス業／官公庁・その他

部屋の広さ・食事・設備等、好みに合うホテルや旅館を、インターネットで予約した。
【ホテル予約】

空席状況、料金等を予約サイトで確かめて、航空券を予約しよう。
【航空券座席予約】

30Aから60Aへの容量変更や200V工事など、コールセンターに連絡すれば相談に乗ってくれる。
【電力窓口対応業務】



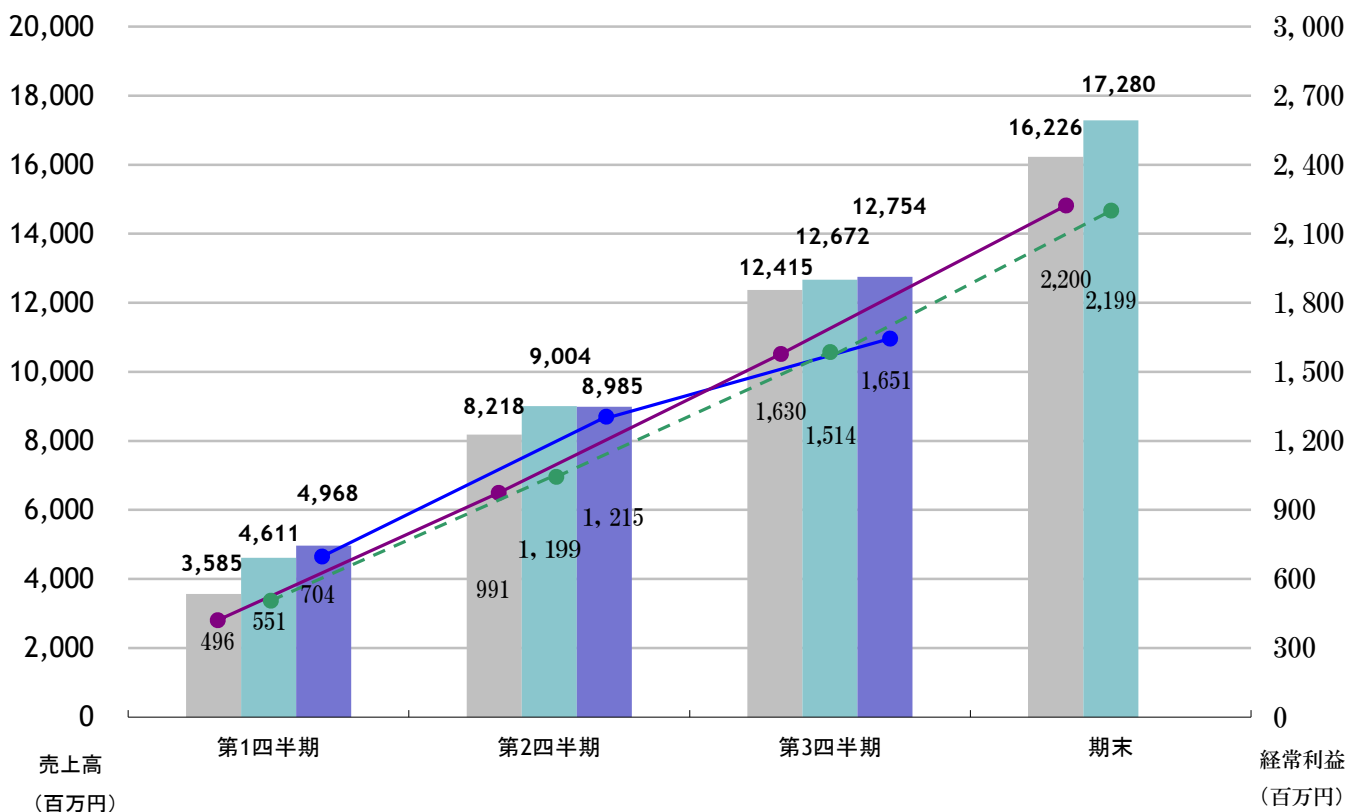
当第3四半期の実績ハイライト

□連結売上高 : 12,754百万円 (前期比 +2.7%)

□連結経常利益 : 1,651百万円 (前期比 +1.3%)

売上高および経常利益の推移

第46期売上高(実績) 第47期売上高(計画) 第47期売上高(実績)
第46期経常利益(実績) 第47期経常利益(計画) 第47期経常利益(実績)



<売上高>

ソフトウェア開発事業において、
流通・サービス業向け、金融・保険
業向けおよび製造業向けなどの開発
案件が増加

<経常利益>

ソフトウェア開発事業において、
増収効果および原価率の改善などに
より増加

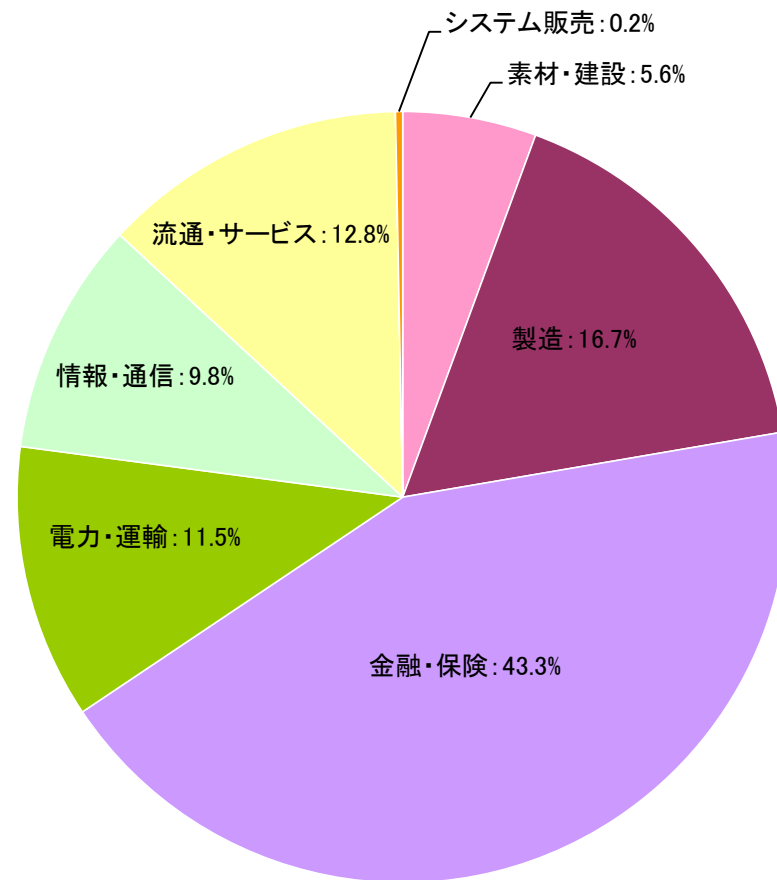
当第3四半期の実績ハイライト:セグメント別

■ソフトウェア開発事業

売上高	12,718百万円	前期比 (+2.8%)
■ 素材・建設	710百万円	(+4.9%)
■ 製造	2,125百万円	(+8.4%)
■ 金融・保険	5,519百万円	(+4.4%)
■ 電力・運輸	1,470百万円	(△28.0%)
■ 情報・通信	1,253百万円	(△9.8%)
■ 流通・サービス	1,628百万円	(+60.5%)
■ 官公庁・その他	9百万円	(+855.1%)
セグメント利益	1,561百万円	(+1.6%)

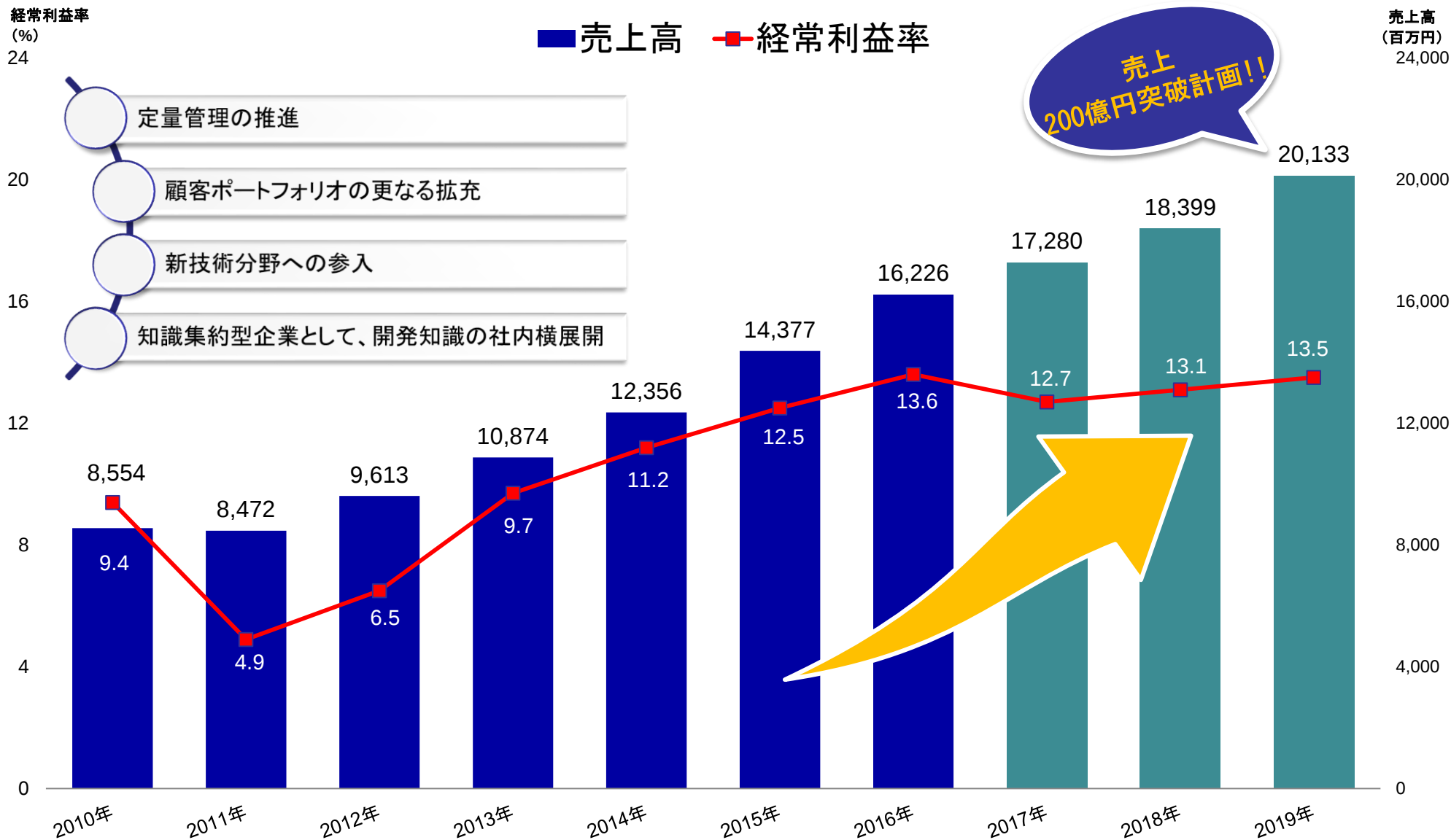
■システム販売事業

売上高	35百万円	前期比 (△20.4%)
セグメント損失	△21百万円	(0百万円減少)





ジャステックのこれから<中期計画>





ジャステックのこれから＜対処すべき課題＞

当社グループは、このような見通しに立ち、以下に掲げる課題を設定し、これらを達成すべく全社員一丸となって取り組んでおります。

新たなビジネス展開を目指すべく挑戦テーマを探ってまいります。

（課 題）

- ① 世代交代を可能とする人材の発掘と育成
- ② 利益の拡大および利益率の改善
- ③ ACTUM®(注1)(CMMI(注2)レベル5準拠)等の更なる精練
- ④ 情報セキュリティマネジメントシステム(国際標準規格ISMS等を含む)の効果的な運用強化
- ⑤ 女性活躍の推進
- ⑥ 社外の認識
- ⑦ グローバルビジネスの展開
- ⑧ 環境マネジメントシステムの運用による環境貢献
- ⑨ 法令遵守

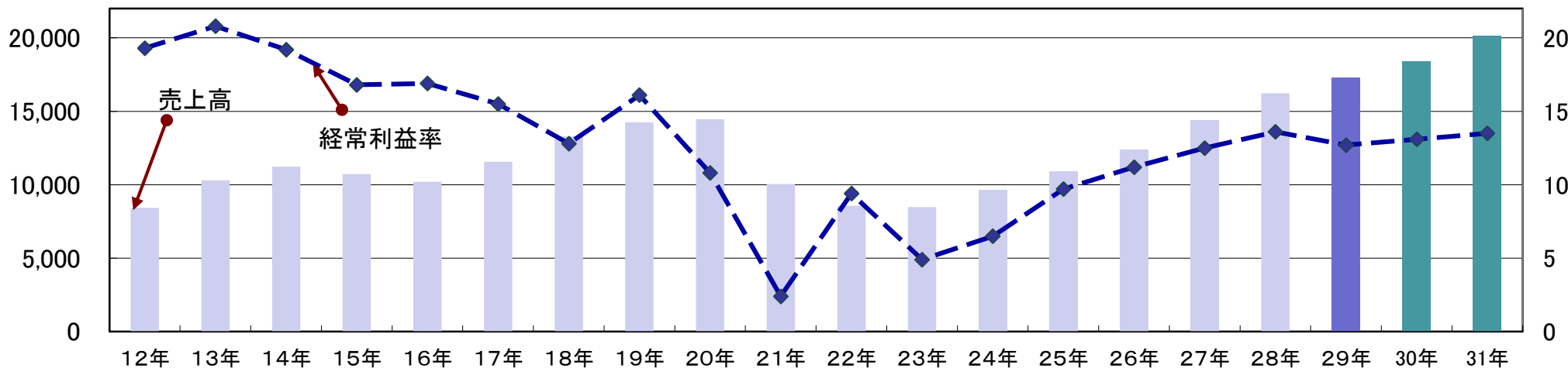
(注1)ACTUM®は、当社独自の生産管理システムの商標名です。



業績詳細＜業績の推移＞

【単位：百万円】

※平成29年以降は平成29年1月11日発表の計画値



	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	(2000)	(2001)	(2002)	(2003)	(2004)	(2005)	(2006)	(2007)	(2008)	(2009)	(2010)	(2011)	(2012)	(2013)	(2014)	(2015)	(2016)	(2017)	(2018)	(2019)
売上高	8,432	10,295	11,222	10,725	10,200	11,559	13,282	14,244	14,446	10,039	8,554	8,472	9,613	10,874	12,356	14,377	16,226	—	—	—
(当初計画値)	(8,071)	(9,909)	(11,950)	(11,800)	(10,200)	(10,800)	(13,178)	(14,344)	(15,010)	(10,177)	(9,375)	(8,906)	(8,867)	(10,660)	(11,679)	(14,130)	(15,790)	(17,280)	(18,399)	(20,133)
対計画達成率	104.5%	103.9%	93.9%	90.9%	100.0%	107.0%	100.7%	99.3%	96.2%	98.6%	91.2%	95.1%	108.4%	102.0%	105.8%	101.7%	102.7%	—	—	—
経常利益	1,628	2,140	2,157	1,799	1,719	1,794	1,694	2,294	1,554	236	799	413	628	1,052	1,385	1,800	2,200	2,199	2,417	2,723
経常利益率	19.3%	20.8%	19.2%	16.8%	16.9%	15.5%	12.8%	16.1%	10.8%	2.4%	9.4%	4.9%	6.5%	9.7%	11.2%	12.5%	13.6%	12.7%	13.1%	13.5%
当期純利益	834	1,147	1,223	1,025	989	1,046	818	1,146	276	△323	359	77	128	554	785	2,390	1,351	1,477	1,624	1,838
当期純利益率	9.9%	11.1%	10.9%	9.6%	9.7%	9.0%	6.2%	8.0%	1.9%	△3.2%	4.3%	0.9%	1.3%	5.1%	6.4%	16.6%	8.3%	8.5%	8.8%	9.1%



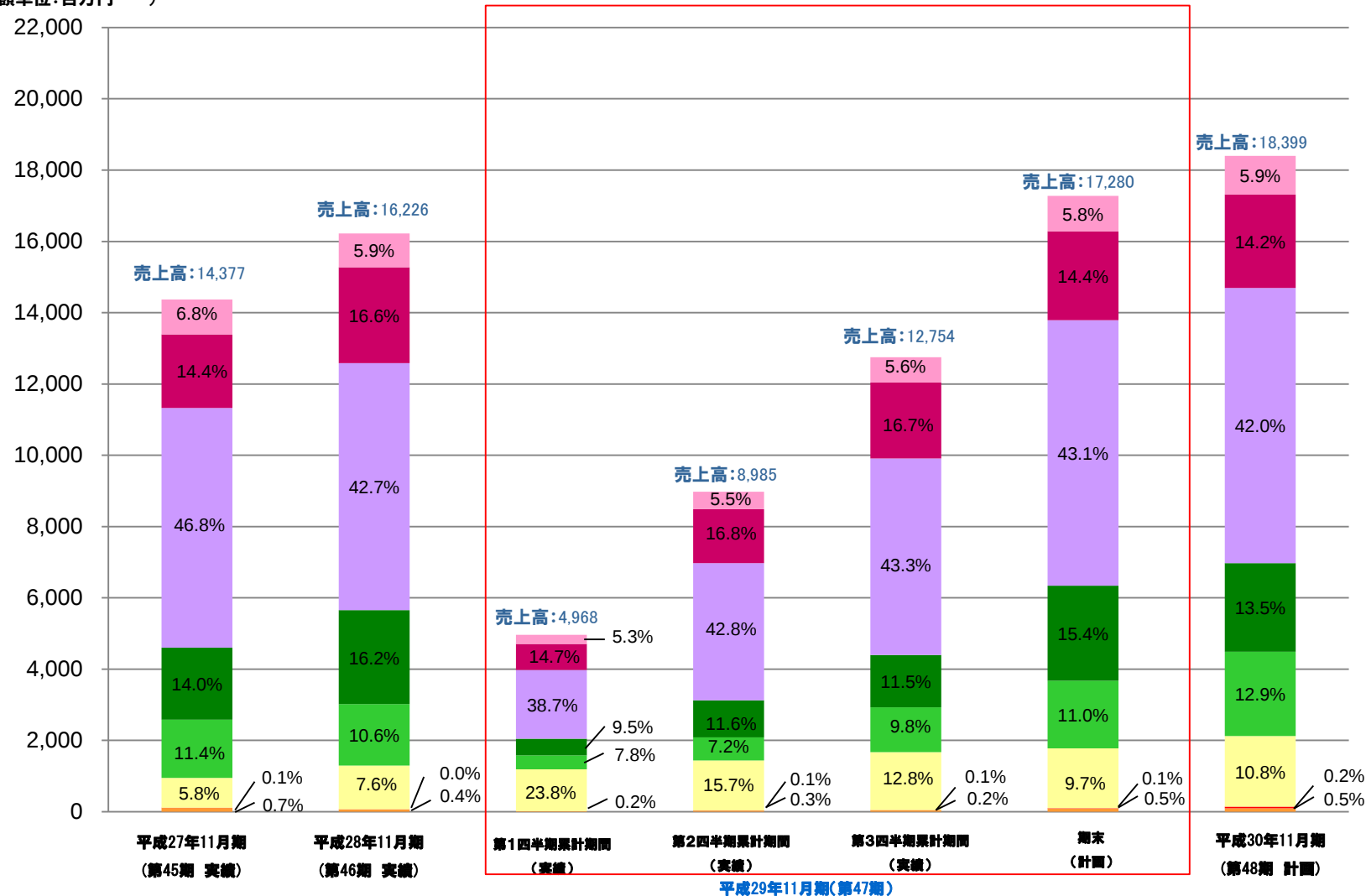
業績詳細＜売上高推移：セグメント別＞

取引先市場別区分毎の売上高構成の推移

※平成29年以降は平成29年1月11日発表の計画値

※ 以下表は、売上高を事業セグメント別に区分し、ソフトウェア開発事業につきましては、取引先が属する市場別に区分しております。

(金額単位：百万円^(注1))



- ソフトウェア開発事業
- 素材・建設
 - 製造
 - 金融・保険
 - 電力・運輸
 - 情報・通信
 - 流通・サービス
 - 官公庁・その他
- システム販売事業
- システム販売

(注1) 金額は百万円未満を切り捨てて記載しております。



業績詳細＜株式状況＞

1. 株式の状況

【一単元の株式数 普通株式 100株】

事業年度	発行済株式	株主数	イベント	
平成17年11月期	9,009,800株	2,543名	平成17年9月6日	公募を実施（805,000株）直後、株主数約4,000名
平成18年11月期	18,208,200株	3,643名	平成18年6月1日	1対2の株式分割実施
平成20年11月期	18,287,000株	3,836名	平成20年1月29日～3月31日 平成20年10月1日～11月18日	自社株買いを実施（360,000株） 自社株買いを実施（300,000株）
平成22年11月期	18,287,000株	4,886名	平成22年1月13日～3月16日	自社株買いを実施（390,000株）
平成26年11月期	18,287,000株	6,309名		
平成27年11月期	18,287,000株	6,490名		
平成28年11月期	18,287,000株	5,714名	平成28年2月1日～3月31日 平成28年9月16日 平成28年10月5日	自社株買いを実施（300,000株） 自社株買いを実施（100,000株） 自社株買いを実施（91,000株）
平成29年5月末	18,287,000株	4,637名		

（注）平成29年5月末時点での自己株式数：1,177,122株

2. 大株主の状況

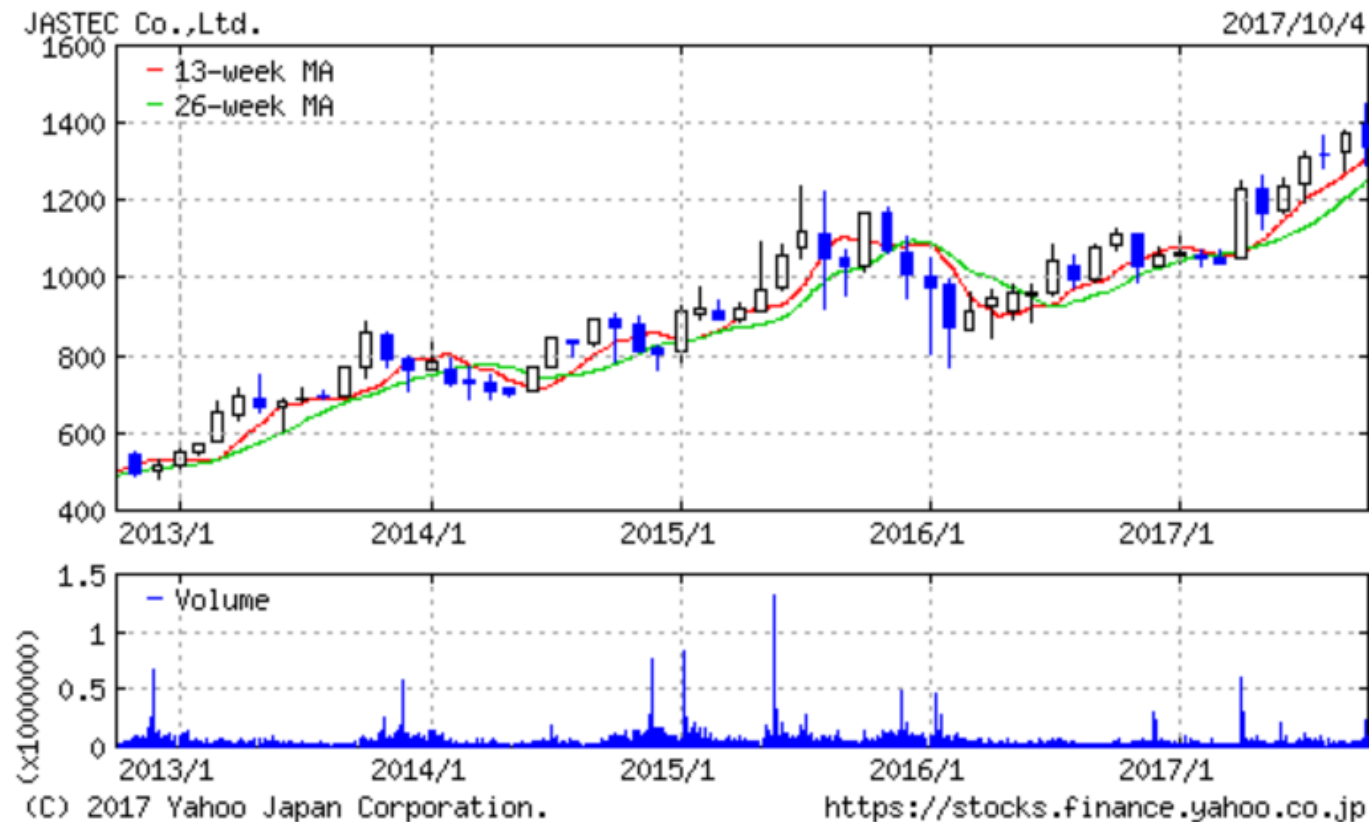
株主名	持株比率
神山 茂	16.15%
有限会社サスマ	6.56%
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE-HCR00	5.56%
ジャステック従業員持株会	5.39%
東京海上日動火災保険株式会社	3.24%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3.11%
第一生命保険株式会社	3.00%

（注）上記のほか、当社所有の自己株式1,177,122株（6.43%）があります。17



業績詳細＜株価状況＞

● 株価推移 平成24年(2012年)～平成29年(2017年)



平成29年10月4日終値

株価	1,338円
時価総額	24,468百万円
1株配当	30円
配当利回り	2.2%

【連結指標】

1株利益 EPS	1株純資産 BPS	株主資本利益率 ROE	総資産利益率 ROA	配当性向	株価収益率 PER	純資産倍率 PBR
78.33円	842.61円	9.5%	7.8%	38.3%	17.1倍	1.6倍
平成28年11月期末決算数値を使用					株価は平成29.10.4終値を使用	



当社のキャラクター【柳小面】



この能面は、金春の座附きであった
大蔵彌右衛門虎明(慶長七年の時六歳)の
書いた「わらんべ草」
「登髭」「金春小面と同じ作、
同木にて打たる面也、今ノ金春小面ハ柳ナリ」とある
小面のことと云われている。池田家伝来。

この能面を、演者で製品の提供者である
(株)ジャステックと鑑賞者で製品の使用者である
お客様とを結ぶキャラクタとして採用しました。

【問合せ先】

- TEL
- ホームページ
- メール宛先

: 03-3446-0295
: <http://www.jastec.co.jp/>
: info@jastec.co.jp

免責事項

本資料に記載された業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な
情報に基づき判断した予想であり、不確実な要素を含んでいます。
実際の業績等は、業況の変化等により、記載されている予測数値と異なる
場合があります。